

ヒロイン敗北



BLACK GIRL 2
ブラックガール



久しぶりだな

フフフッ



ヒーロー

随分と

人の姿で
好き勝手に
ヤツてくれてる
じゃない

ああ

とても
気に入っているよ
ククッ

不愉快よ

……良いのか？









—あまり

見くびって
もらっては
困る



失念して
いるのか？



私という
生命体には
決まった
姿・形は無い

ゆえ
故に

どんなモノにも
擬態可能だ

ガハハハ

クククッ

そういえば
前回も
腹を責めたな

ガハガハッ

ガハッ

おえ

ガハハハ



「見くびるな」と
言ったのは
貴様であろう？







良い格好に
なったじゃないか



耐えろよ



ムグツ





うえ…



あが…





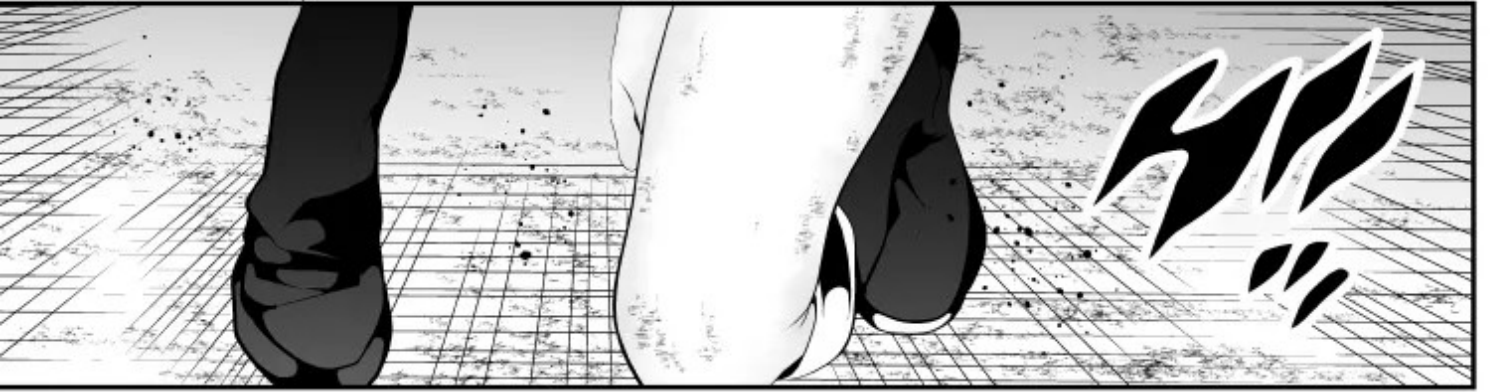


おええええ

ゲエツ…











クハハハッ！

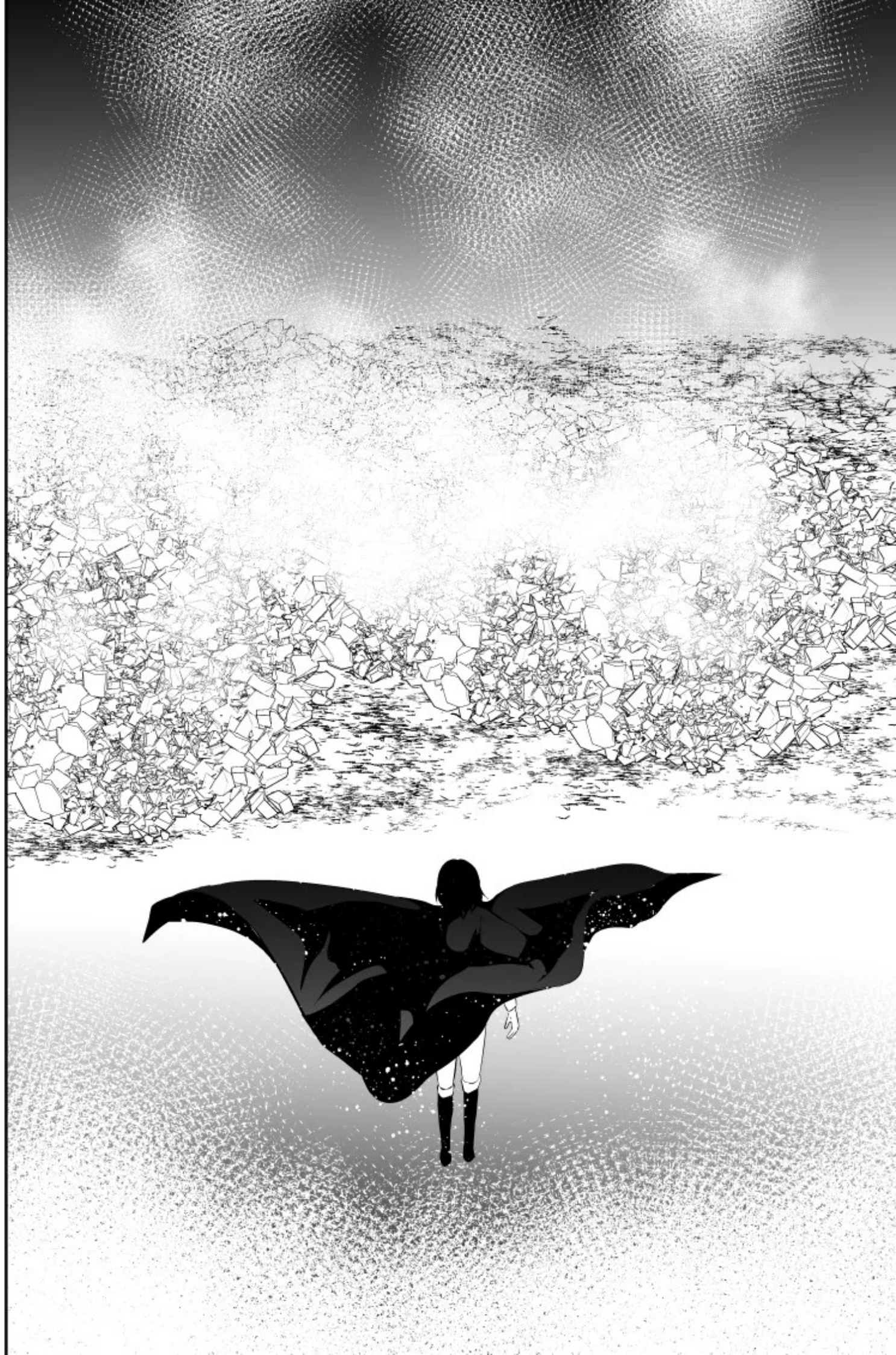
いいだろう
見せてやる

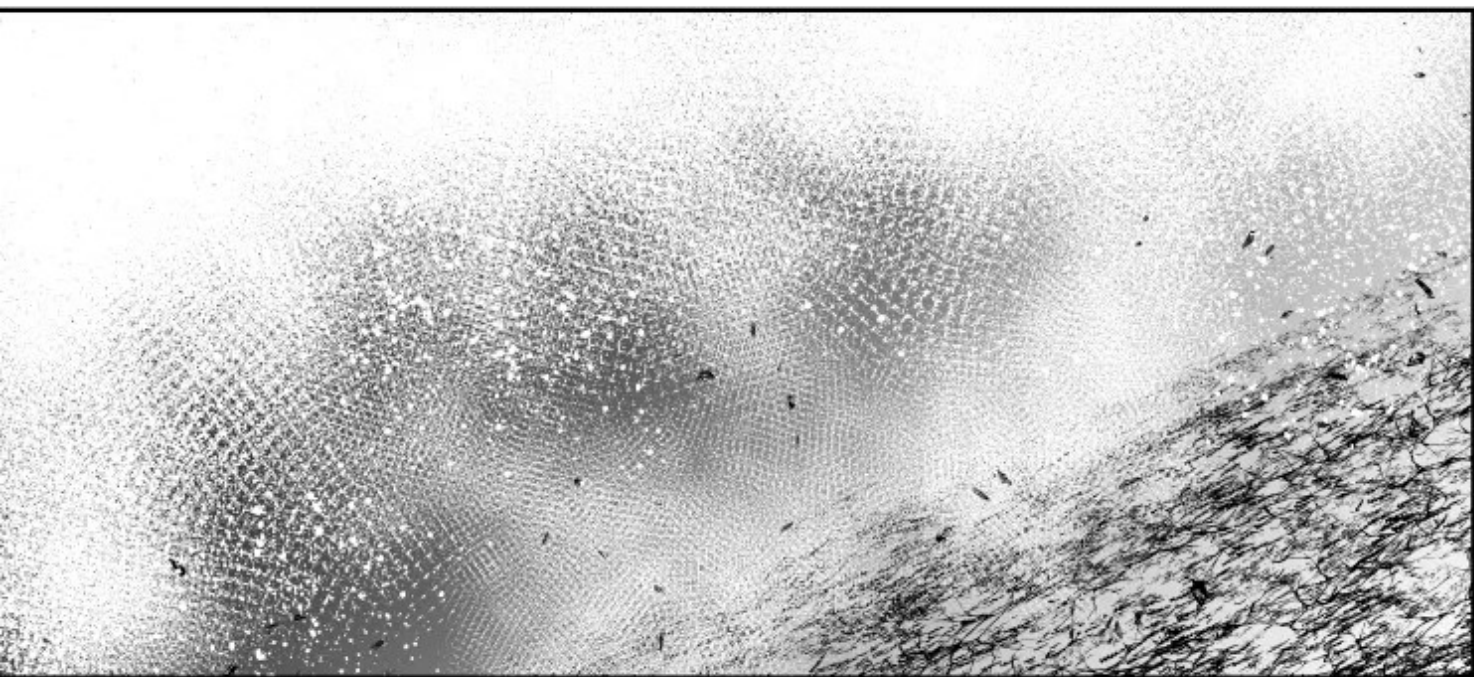
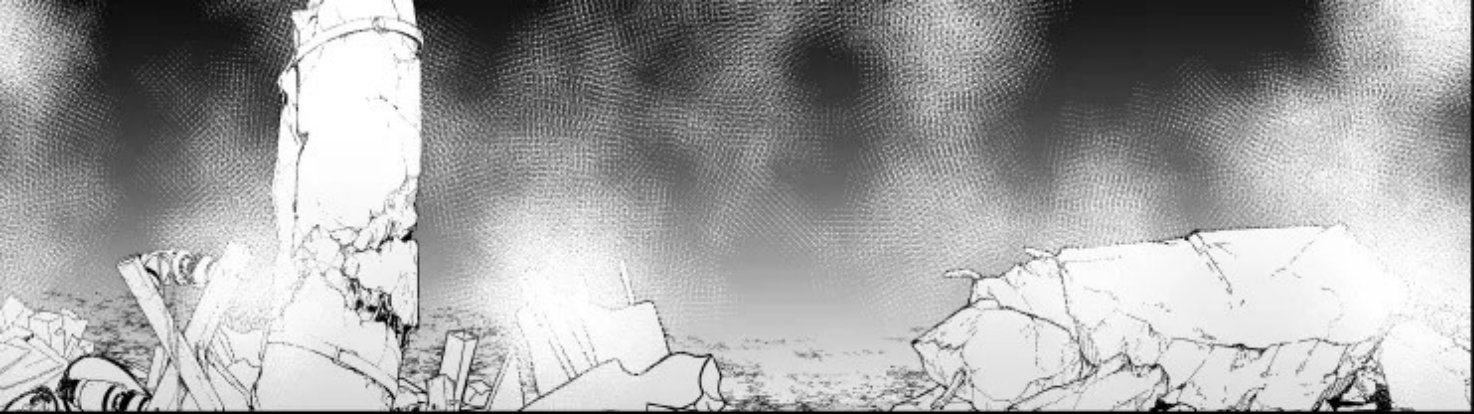
貴様の
チカラなど

とうに
超えている
ことを！











さすがに
頑丈だな



か・はっ

あ







ここまでだ





ククッ
いい恰好だな

なに安心しろ
殺しはしまい

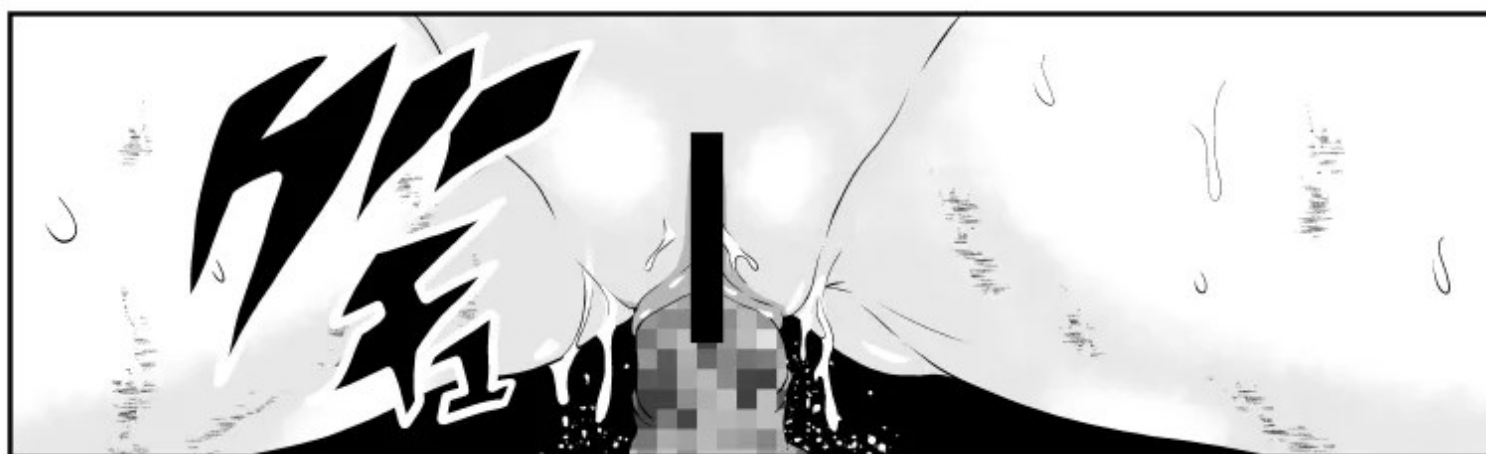
どうやら
躰が
足りないよう
だからな



な...

.....なに.....?







おいさ!!

お

お



……前回と
同様！



我が子を
孕め

うっ…は

おえ…



…やけるな…

…ふ…

カッ
カッ

えッ

おっッ



クククッ
今回は
増量サービスだ

大量の精液を
ぶち込んで
やるわ



AAAAAAAAA

ア

AAAAAAAA

AAAAAAAA



びんぽん









ハハハハハハハッ



**ご購入
ありがとうございます**



※この物語はフィクションです。
実在の人物・事件などにはいっさい関係ありません。
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。
尚18歳未満の閲覧 購買は禁止です。

サークル Aries